

令和7年度 第5回 産業医科大学倫理委員会議事抄録（案）

- 1 日 時 令和7年8月6日（水）13：30～14：50
- 2 場 所 大学本館2号館4階 多目的ホール
- 3 出席者（13名）（敬称略、選出区分順）
学内：中山、齋藤、長田、足立、石丸、立石（和）、石田尾、三輪、檜本
学外：櫻井、安元、田中、早川
欠席者（3名）
学内：矢寺、東、藤野
学外：なし

4 報告事項等

(1) 令和7年度 第3回迅速審査小委員会について

齋藤迅速審査小委員会委員長から、席上配付資料に基づき、4件の審査結果について、委員の指摘事項等に関する研究責任者の対応及び修正内容を小委員会委員長が確認したので承認することとし、内容は資料のとおりである旨の報告があった。

- ① 研究責任者： 医学部 第1生理学 助教 上野 啓通
研究課題名： 職場と産業保健スタッフの合意による厳格な健康診断事後措置が、重症健診異常を抱える従業員へ与える影響
審 査 要 旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 助教 谷 直道
研究課題名： 介護施設における業務効率化と介護職員の心身負担との関連性
審 査 要 旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： 医学部 産科婦人科学 助教 金城 泰幸
研究課題名： 2019年の福岡県内の産科医療施設における母性健康管理指導事項連絡カードの使用状況
審 査 要 旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ④ 研究責任者： 医学部 公衆衛生学 教授 中田 光紀
研究課題名： 仕事のストレス要因と生活習慣、仕事の怪我とうつ病の関連
審 査 要 旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

5 審議事項等

(1) 令和7年度 第4回 産業医科大学倫理委員会議事抄録（案）について

中山委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請

- ① 研究責任者： 医学教育改革推進センター 講師 濱田 千枝美
研究課題名： 診療参加型臨床実習の質向上に関する探索的研究
審 査 要 旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出された

ものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

9. 研究対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク

2) 研究対象者の負担

・「無」となっているが、時間的拘束があるため、「有」に修正する。

3) 研究対象者の予測されるリスク

・「無」となっているが、情報漏洩の可能性があるため、「有」に修正する。

○医学部6年次生向け対象者募集の文書

・旅費や謝金を支給しないのであれば、その旨を明記する。

○インタビュー調査の実施時間について、研究計画書には「30分程度」と記載されており説明文書には30～45分程度と記載されているため、どちらかに統一する。

② 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 講師 庄司 卓郎

研究課題名： 自動車工場の組み立て作業員のばね指防止に関する研究

その1インパクトレンチのグリップの太さが使用時の負担に及ぼす影響

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書 4. 実施計画 c) 統計解析方法

・「3重の場合は」を、「3群の場合は」に修正する。

○研究実施計画書 2. 背景

・下から3行目「その理由として…メーカー側のニーズもある。」という文章を、わかりやすい表現に修正する。

○説明文書

9. 研究が実施または継続されることに同意しないこと又は同意を撤回することによって研究対象者等が不利益な扱いを受けないことについて

・2行目「回答された調査票の提出前であれば、」を削除する。

③ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 河村 洋子

研究課題名： ストレス・マインドセットの介入効果の検証

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

14. 研究により得られた結果等の取り扱い 1) 結果の説明

・「一方、本研究では生命に重大な影響を及ぼすおそれのある情報を扱わないので、対象者の個別の結果について提供することを予定していない。」とあるが、生命に重大な影響を及ぼすかどうかは判断基準ではないため、例えば、個人の結果を得ることを前提としない研究であるためというような表現に修正する。

- ④ 研究責任者： 産業保健学部 作業環境計測制御学 教授 宮内 博幸
研究課題名： 化学防護手袋装着時の器用性に関する評価方法の研究
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

3. 実施概要 2) 研究の目的及び意義
・4行目「安衛則」を「安全衛生規則」に修正する。
4. 実施計画 b) 研究の具体的方法
・アンケートを実施することについての記載がないため追記する。

○説明文書

4. 研究の背景・目的・意義について
・5行目「安衛則」を「安全衛生規則」に修正する。
8. 研究が実施又は継続されることに同意した場合であっても随時これを撤回できることについて
・研究計画書の「7. 実施事項等における倫理的配慮について 3 研究対象者の自由な選択と同意撤回の保障【同意撤回について】」には、「同意撤回できるのはアンケートを提出する前まで」とあるが、説明文書には記載がないため追記する。

[質問事項]

○倫理審査研究計画書

3. 実施概要 2) 研究の目的及び意義
・本研究の目的は、作業性を低下させない手袋の開発のためまずは、作業性を評価する方法を開発することとあるが、ピンをつまんで持ち上げ、戻すという一つの方法だけでなく様々な評価方法を試さなければ、この目的は達成できないのではないか。

- ⑤ 研究責任者： 医学部 医学概論 教授 石丸 知宏
研究課題名： 労働者向け HIV 感染症・エイズ啓発資料の効果検証
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

6. 医学からみた客観的意義（研究の科学的合理性の根拠）
・3行目「スティグマ」を、分かりやすい「偏見」等の表現に修正する。

○アンケート内容

- ・F4. 「… (F5で1～11を…)」を「… (F3で1～11を…)」に修正する。

(2) 新規申請（中央一括審査/本学代表）

- ① 研究責任者： 産業医科大学病院 嗅覚・味覚センター 部長 柴田 美雅
研究課題名： 日常診療で行う「基準嗅覚検査」の3管理一検査試薬が臨床検査技師および患者に及ぼす影響の検討
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

9. 研究対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 研究対象者の負担
・アンケートへの回答時間は10～20分程度と記載があるが、現地調査の所要時間についての記載がないため、追記する。

- ② 研究責任者： 産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中谷 淳子
研究課題名： 産業現場で活動する保健師・看護師を対象とした基礎研修に関する妥当性の調査
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

12. 研究費の資金源と利益相反について 3) 知的財産権の発生について
・「…その権利は産業医科大学に帰属し…」とあるが、共同研究機関の研究実施計画書によると共同研究機関にも帰属すると思われるので、修正する。

(3) 変更申請（中央一括審査）

- ① 研究責任者： 産業保健学部 作業環境計測制御学 教授 宮内 博幸
研究課題名： 化学物質のばく露評価手法の比較・検証に関する基礎的検討
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、以下の質問事項について研究責任者に確認し、回答内容を委員長が確認した時点で「承認」とする。

[質問事項]

- ・なぜ、研究責任者ではない学外研究機関が、個人情報を含む情報を保管することになったのか。

- ② 研究責任者： エコチル調査産業医科大学サブユニットセンター センター長 辻 真弓
研究課題名： 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）本調査における産業医科大学サブユニットセンター任意調査（8歳、12歳）
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

③ 研究責任者： 産業保健学部 作業環境計測制御学 講師 石田尾 徹
研究課題名： 整形外科手術領域の診断参考レベル設定のための予備調査
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

④ 研究責任者： 産業保健学部 作業環境計測制御学 講師 石田尾 徹
研究課題名： 放射線業務従事者の放射線防護の最適化
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(4) 変更申請（中央一括審査/本学共同研究機関）

① 研究責任者： 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 技師 興梠 陸人
研究課題名： 大学病院新生児集中治療室における MRSA 保菌状況の検討
研究代表機関： 東京慈恵会医科大学附属病院
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(5) 変更申請

① 研究責任者： 産業生態科学研究所 環境疫学 教授 藤野 善久
研究課題名： 産業保健データサイエンスセンターデータベースを用いた研究
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

② 研究責任者： 産業生態科学研究所 放射線衛生管理学 助教 永元 啓介
研究課題名： XR（クロスリアリティ）技術を用いた放射線防護教育プログラムの効果評価および職業被ばく低減への影響の検証
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

③ 研究責任者： I R推進センター 准教授 井上 彰臣
研究課題名： 職場における心理社会的な安全風土・リスクリングが労働者の健康に及ぼす影響：前向きコホート研究
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

④ 研究責任者： 産業保健学部 基礎看護学 准教授 岡田 なぎさ
研究課題名： 看護師が生き生き労働生活を送るための要因に関する質的検討
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

⑤ 研究責任者： 医学部 第1生理学 教授 丸山 崇
研究課題名： 「IoT 技術を用いた転倒予防システムの開発」
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

⑥ 研究責任者： 産業医実務研修センター 助教 五十嵐 侑
研究課題名： 新型コロナウイルス感染症の罹患後症状を有する労働者の就労支援に関する調査
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

⑦ 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 助教 谷 直道

研究課題名： DSC 医科レセプトデータを用いた腰背部痛の新規発症に関する業種横断的
分析

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

⑧ 研究責任者： 産業生態科学研究所 健康開発科学 講師 姜 英

研究課題名： 中小企業、特にサービス産業における受動喫煙曝露の実態と受動喫煙による
生体影響の検証

審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

6 その他

(1) 研究終了報告 4 件及び進捗状況報告 16 件について、別紙のとおり承認された。

研 究 終 了 報 告

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
R4-044	原田 有理沙	両立支援科学	助教	治療と仕事の両立支援における患者の仕事映像コンテンツ開発と有用性評価
R4-039	山田 晋平	安全衛生マネジメント学	講師	ヘルムホルツ・コールラウシュ効果を考慮した背景色と呈示色の組み合わせの違いが疲労に与える影響
R4-040	山田 晋平	安全衛生マネジメント学	講師	深呼吸と足浴の組み合わせによる自律神経活動への影響
R4-043	江口 尚	産業精神保健学	教授	治療と仕事の両立支援を必要とする復職後の患者に対する離職要因を検討するための調査

研 究 進 捗 状 況 報 告

承認番号	研究責任者	所 属	職 名	課 題 名
R4-048	足立 弘明	神経内科学	教授	細胞による神経変性疾患の治療法の実用化に向けた研究
R4-049	足立 弘明	神経内科学	教授	ALS患者由来iPS細胞を用いた治療法の開発研究
ER24-022	二ツ矢 浩一郎	放射線科学	学内講師	XR(クロスリアリティ)を活用したIVR(画像下治療)の手技および職業被ばくに関する教育プログラムの開発
R2-027	佐藤 寛晃	法医学	教授	陳旧死体の腐敗性アミン濃度の検討
ER23-035	川村 卓	小児科学	助教	児童福祉施設・小中学校におけるアレルギー疾患の管理に関する調査
ER24-023	榎原 毅	人間工学	教授	バーチャルリアリティ利用中の生体情報によるメンタルヘルス・モニタリング手法の構築 ーHead Mounted Displayによる測定手法の標準化ー
ER24-036	永野 千景	産業保健管理学	講師	暑熱作業におけるアイススラリー冷蔵庫を利用した体温上昇抑制効果に関する研究
ER23-009	永野 千景	産業保健管理学	講師	職場における個人情報保護と活用に関する意見調査
ER23-058	永野 千景	産業保健管理学	講師	暑熱環境下での運転作業におけるチラーを用いたシート冷却による体温上昇抑制効果の検討
ER23-022	永野 千景	産業保健管理学	講師	労働現場における騒音リスクの個人ばく露計による評価
ID24-008	江口 尚	産業精神保健学	教授	休職者に対するハイブリッド・リワークプログラム(Hybrid Return to Work:HR2W)の効果:実行可能性研究
ER23-036	大河原 眞	環境疫学	助教	女性の健康に関連した産業保健活動の確立に向けたインターネット調査(厚生労働科学研究費23JA1005)
ER24-035	藤野 善久	環境疫学	教授	日本の女性パイロットが働きにくさを感じるプロセス
ER24-032	大神 明	作業関連疾患予防学	教授	新たに考案された特殊健診問診票の導入に関する研究
ER24-029	安藤 肇	作業関連疾患予防学	学内講師	VR技術を用いた遠隔職場巡視の現場活用に関する研究
IDR4-003	井上 彰臣	IR推進センター	准教授	職場の心理社会的安全風土と労働者の健康に関する縦断研究